



中丹 普及センターだより

「万とうゼミ」で若手生産者が切磋琢磨!



今年度から「万願寺甘とう」の強固な経営体育成による持続的な産地づくりを目的とした「万とうゼミ」を開催しています。ゼミ参加者ごとに課題や目標を設定し、ほ場互見会、先進地視察、各種勉強会や情報交換等の様々な取組みを通して、課題解決の道を探っています。

今後も「万とうゼミ」の活動を継続し、新規就農者等が「万願寺甘とう」を栽培品目として迷うこと無く選択できるような産地づくりに取組みます。

なお、30年度も万願寺甘とう栽培に強い意欲を持つ生産者をゼミ生として募集する予定です。

生育状況を説明する普及指導員



課題の整理(4月)

ほ場互見会(5月)

生育報告会(7月)

高知県を視察(11月)

京都府中丹広域振興局農林商工部

にし
中丹西農業改良普及センター
〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91
TEL 0773-22-4901
e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

ひがし
中丹東農業改良普及センター
〒623-0012 綾部市川糸町丁島10-2
TEL 0773-42-2255
e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

発行
2018年(平成30年)
冬号

写真で振り返る 29年度の普及活動

1 人づくり・組織づくり

○地域を担う若手農業者13名の経営目標が達成できるよう、年間の行動計画づくりやその実行を支援しました。



トマトの管理方法を打合せ

○地域を担う集落型法人3組織を対象に、それぞれの技術的、経営課題の解決を支援しました。



法人担当者(左)と作付計画を検討

○農業基礎講座を10回シリーズで開催し、これから農業に意欲的に取り組もうとする受講生12名に実技を交えた講習を行いました。



トラクターの整備講習

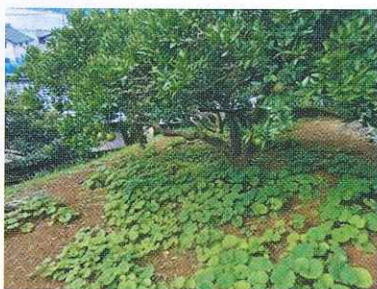
2 地域・絆づくり

○地域の中核的担い手の負担軽減をテーマに、京力農場プラン地域交流会を開催し、地域の先進的事例や畦畔除草の省力化技術等について紹介しました。



地域交流会

○舞鶴市西大浦のミカン園では樹冠下で「山ブキ」が自生しています。山ブキの他、畑ワサビ、ミヨウガの栽培事例や山菜摘採園など地域資源を活用した都市農村交流へのステップアップについて考える懇話会を開催しました。



果樹の株元で繁殖する山ブキ

3 ものづくり・販路づくり

○「祝」「京の輝き」「五百万石」の酒米生産意欲・技術の向上を目的に生産者と試験研究、流通、実需者との意見交換や現地互見会を実施しました。



地元酒造業者の講演

○紫ずきんの発芽安定のため「播種前講習会」を研究機関と連携して実施しました。また、地域別講習会では実際に土を使いながら播種時の注意点を説明するなど、発芽率向上を支援しました。



土の湿り具合を説明する普及指導員

台風で被災された皆様へお見舞い申し上げます

9月17日の台風18号を皮切りに、10月下旬の21号、22号と中丹地域を度重なる台風が通過・接近し、特に18号、21号では強風によるパイプハウスの倒壊、茶園をはじめ農地の浸冠水、山崩れなど各地に大きな爪痕を残しました。改めまして、被災されました皆様へ心よりお見舞い申し上げます。京都府では、補正予算で策定した「農業者等復旧応援事業」などにより、営農基盤の早期復旧に向け微力ながらご支援させていただきましたが、春の農繁期を目前にまだまだ心許ない状況の方々もおられることと存じます。普及指導員一同、引き続き全力でご支援して参ります。

様々な角度から

頑張る方々を紹介

地域で活躍する農業士



しかた せつや
四方 節也さん
＜長男のご子息と＞
(綾部市上延)

「四方ファーム」を継いだ長男、独立自営する次男と協力して21haの水田でコシヒカリ・京の輝き・糯米などを栽培しています。最近20〜30歳代の若者から水稲経営を志す相談が増え、時代の移り変わりを感ずります。高齢化が進む中、農地を守るにはやはり米など土地利用型作物しがあり得ません。面積拡大とともに草刈は大変な作業ですが、バイトの農大生に助けをもらいながら、農業の魅力や厳しさを感ずってもらえればと思います。冬場は糯加工と年中休みはありますが、若者から元気をもらいながら頑張っています。

担い手養成実践農場研修了者にきく
△就農準備型▽

たか せ のぶゆき
高瀬 信幸さん
(平成29年 就農)
福知山市三和町

〈経営概要(29年度)〉
・水稲 25a
・万とう 8a ・クリ 10a

しおみち がく
塩道 岳さん
(平成29年 就農)
福知山市三和町

〈経営概要(29年度)〉
・水稲 25a
・万とう 8a ・クリ 10a

ありましたが、2人で乗り越え、また、技術指導者や周りの方々にも助けられ、無事研修を終えることが出来、感謝して臨みます。塩道さんは引越して、新たな思いで万トウ栽培に出しています。高瀬さんは大特免許を取得し、新たな一歩を踏み出しています。

出身地は異なりますが、この三和町で二人で農業がしたい「万願寺甘とうが栽培したい」と思い、2年間、実践農場で研修を受け、今年4月、念願であった就農が出来ました。

研修中はいろいろ

京力農場プランではばたく地域

大川地区(舞鶴市大川)

- ・中心となる担い手1組織+5名
- ・農地面積 11ha
- ・スローガン
「みんなで守る 未来の地」



集落を担うベテランと若い担い手

大川地区は由良川沿いの集落でコウノトリが頻りに現れるきれいな環境の集落です。昭和の終わりから平成の始まりにかけてほ場整備を実施し、一筆あたり3反ほどの水田としました。管理しやすい水田にすること、若い担い手と協力すること、若



飛来したコウノトリ

とで水害に負けないよう農地を守っています。

平成28年度からは地域の新たな特産物とするため、山ブキの栽培に取り組んでいます。今後は地域の婦人会や老人会などの協力をもらいながら、山ブキの加工や販売などをしていき、農地を守るとともに地域を発展させていきたいと考えています。



育つ山ブキ



山ブキ地下茎の定植

〇〇さん家のお料理レシピ 『里芋まんじゅう』

上品なまんじゅうに仕上げました！
おもてなしにどうぞ



大江町生活研究グループの皆さんにお聞きました。

- ＜材料 5〜6人分＞
里いも……………500g
米のとぎ汁……………適量
しょうが……………少々
八方だし
だし汁……………800ml
砂糖……………大さじ2
みりん……………大さじ2
薄口しょう油……………大さじ2
塩……………小さじ1
水溶性片栗粉
片栗粉……………大さじ1
水……………大さじ2
揚げ油……………適宜

- ① 里芋の皮を厚めにむき、米のとぎ汁で竹串がスッと通るまでゆで、ざるにあげ、さっと水洗いする。
- ② 鍋に八方だしの材料、①を入れ、15〜20分煮る。
- ③ 煮上がったら里芋を取り出し、煮汁はざるでこしておく。
- ④ あたかいうちにつぶして丸め、分量外の片栗粉をつける。
- ⑤ しょうがは皮をむき、すりおろす。
- ⑥ 揚げ油を180℃に予熱し、④を揚げる。
- ⑦ ③の煮汁を沸騰させ、水溶性片栗粉を加えてとろみがついたら火を止める。
- ⑧ ⑥を器に盛って⑦をかけ、おろししょうがをのせる。

全国茶品評会「かぶせ茶の部」で大臣賞・産地賞受賞!!

長崎県で第71回全国茶品評会が行われ、「かぶせ茶の部」で両丹いきいきファーム(綾部市)が農林水産大臣賞を受賞されました。また、1位から4位まで綾部市の出品茶が独占し、綾部市が産地賞に輝きました。綾部市では、同部門で6年ぶりの日本一となりましたが、両丹地域全体では10年連続産地賞受賞となり、両丹地域の高品質茶産地としての評価が全国に広まっています。



賞状を手にする中田氏

の荒茶が製造できた。台風被害など自然相手のことだからどんなこともあるが、関係機関の力も借りながら、茶生産者で一致団結し、今後、10年、20年と続けて高品質茶産地として評価されるように頑張っていく」と力強く語っておられました。



被災した茶園(綾部市位田)



撤去したゴミ(福知山市土)



産地賞と優勝旗

このような嬉しいニュースの中、10月下旬に通過した台風21号により、由良川河川敷を中心に約28haの茶園が被災しました。代表取締役の中田義孝氏は、「今年は大雪被害や萌芽後の不安定な気象で茶園管理が難しかったが、良い品質

農山漁村伝承技能登録 10名が新規登録

中丹管内で農業分野10名の技能が新たに登録されました。次世代への伝承活動など、更なるご活躍を期待いたします。

市町村名	氏名	登録技能名
福知山市	かわと かつみ 川戸 克己 さん	ずいきの栽培
	まつお ひでお 松尾 秀雄 さん	えびいもの栽培(省力化)
舞鶴市	いずみ かねお 泉 金雄 さん	採卵鶏の飼育
	たに よしお 谷 義雄 さん	松尾ゴボウの栽培
綾部市	おおつきたかひろ 大槻 孝宏 さん	万願寺甘とうの栽培
	もりもと みゆき 森本 幸 さん	万願寺甘とうの栽培
	もりい しろ 森井 士郎 さん	万願寺甘とうの栽培
	むらかみ 村上しのぶ さん	味噌の加工
	うちだ おさむ 内田 修 さん	紫ずきんの栽培
	いのうえ ふみお 井上 文雄 さん	ミニトマトの栽培

農山漁村伝承優秀技能者「農の匠」に認定

伝承技能登録者の内、極めて希少価値が高く優秀な技能者を毎年認定しています。

たかくら きよし
高倉 清 さん(綾部市)
『肉用牛飼育(繁殖)』

牛の観察や母牛の飼料給与技術に優れ、1年1産の理想的な経営を実践されると



ともに、子牛の分娩事故回避のための昼間分娩の技術実証にいち早く取り組み、普及に尽力されるなど、地域の先導的役割を担っておられます。

新しい農業士さんです

後継者の育成等
よろしく
お願いします!

霜尾さんは青年農業士を退任され、指導農業士として引き続きお世話になります。棚田の広がる山間地で、稲作、養鶏、野菜の三本柱で、直接取引を基本とした家族農業経営を行っておられます。「これから先5年、10年の短期間で、激変する農村の姿が想像されます。協同、助け合いでの生き方をどれだけ保っていけるかがポイントになる時代。個人主義でなく、農業士のネットワークを生かして、柔軟な横のつながりと、社会への発信力をもって、元気で楽しい農村の暮らしを実現したい」と決意新たに語っておられました。



しも おともぞう
霜尾共造さん
(舞鶴市西方寺)

～退任された農業士さん～

あした ひさこ
芦田久子さん(福知山市)
しも おきぞう
霜尾喜三さん(舞鶴市)

お世話に
なりました。

収入保険がはじまります!

平成30年秋から申込み開始

品目の枠にとらわれずに、収入全体を見て総合的に対応するセーフティネットです。

加入・支払等手続のスケジュール
(平成30年秋の加入申請開始を想定)

平成30年	平成31年	平成32年
10月~11月	12月末	1月~12月 (税の収入の算定期間)
加入申請	保険料等の納付	確定申告後 (3月~6月)
	保険期間	保険金等の請求・支払

※分割も可(最終の納付期限は8月末)

(注) 個人の場合のイメージ

詳しくは「京都府農業共済組合 中丹支所」まで
綾部市井倉新町中畠23番地 TEL:0773-42-8800

“農薬はラベルをよく見て、安全に使用しましょう”